

単元指導計画表

～振り返り編への見方



【数学的な見方・考え方】

本来は、見方と考え方は一体として捉えるものですが、見やすさを考慮して見方と考え方を分けて記載しています。

数学的な見方・考え方

見方・・・～に着目する

考え方・・・～を論理的に考える ～を筋道立てて考える
～を基に考える ～と関連付けて考える
～と結び付けて考える ～の条件を変えて考える
～の適用範囲を広げて考える

【振り返りの視点】

本研究において整理した3つの視点。視点に沿った振り返りができるようにしたため、1単位時間に視点が複数入ることもあります。



振り返りの視点

- ア) 何が分かったか、何ができるようになったかについて
- イ) 何に着目したか、どのように考えたかについて
- ウ) 次の学習の見通しを持ったり、生活とのつながりを考えたりしたかについて

次	時	教科書のページ 本時のねらい	中心となる 数学的な見方・考え方	の 視 点 の 振 り 返 り	具体的な言葉掛け例 →期待される生徒の反応例	の 方 法 の 振 り 返 り
1	1	p.104～106 身の回りの問題を関数や比例の考え方を利用して解決することを通して、そのよさを理解する。	中心となる 数学的な見方・考え方 ※本来は一体として捉えるのですが、見やすさを考慮し、分けて記載しています。	イ ↓ イ ↓ ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の間の関係に着目する。 ・身の回りの問題について、比例の考え方を基に考える。 	口頭でのやり取り
	2	p.106～108 関数の意味を理解する。また、変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の間の関係や、変数の値のとりうる範囲に着目する。 ・関数の性質を、表を基に考える。 ・範囲の表現方法を、数直線を基に考える。 	ア ↓ ア ↓ ア	<ul style="list-style-type: none"> ・yがxの関数になるのは、どのようなときですか。 →xの値を決めるとき、それに伴ってyの値もただ1つに決まるとき。 ・変域とは何ですか。 →変数の値のとりうる範囲。 ・変域を表すときにはどんな記号を用いますか。 →不等号。 	学習感想

【具体的な言葉掛け例】

授業の振り返りの場面がイメージしやすいように、期待される児童生徒の反応例とともに授業の流れに沿って示しています。

【振り返りの方法】

学習感想、適用問題、小テストを位置付けています。学習感想や適用問題に入る前に、本時の学習内容を簡単に確認する口頭でのやり取りを入れています。

单元指導計画表

～振り返り編～作成のポイント



【中心となる数学的な見方・考え方】

本時のねらいに合わせて数学的な見方・考え方を焦点化し、「○○に着目する」「△△を考える」「□□を基に考える／××と関連付けて考える」等と記述する。



【次・時・本時のねらい】

自校の年間指導計画を
参照して記述する。

【振り返りの視点】

本時のねらいと中心となる数学的な見方・考え方を基に本研究で整理した3つの視点から選択する。

次	時	教科書のページ 本時のねらい	中心となる 数学的な見方・考え方 ※本来は一体として捉えるものですが、見やすさを考慮し、分けて記載しています。	振り の 視 点 返 り	具体的な言葉掛け →期待される児童の反応	振り の 方 法
1	1	<p>p.108~111 速さを決め る量を体験的 にとらえる。</p> <p>速さは単位 量当たりの大 きさの考え方 を用いて表せ ることを理解 する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 距離または時間のど ちらかを一定にする ことに着目する。 5年生で学習した単 位量当たりの大きさ の考え方と関連付け て考える。 	イ ウ	<ul style="list-style-type: none"> 速さを比べるには、どうしましたか。 →距離か時間のどちらかをそろえた。 今日の学習を振り返って気付いたこと や分かったこと、もっと知りたいこと などを書きましょう。 →単位量当たりという考え方があったこ とを思い出した。 →速さを比べるにはいろいろな考え方が ありそうだ。 	口頭での やり取り 学習 感想

【具体的な言葉掛け】

振り返りの場面での実際の言葉掛けをイメージして記述する。教科書の適用問題を使用する場合は、具体的な言葉掛けに「教科書の問題で」と記載する。

【振り返りの方法】

本時のねらいや中心となる数学的な見方・考え方を基に、学習感想、適用問題、小テストから選択して位置付ける。

学習感想や適用問題に入る前に、**本時の学習内容を簡単に確認する口頭でのやり取りを入れる。**